

非線形弾性論における数値解析

特異点の数値的変形について

山口 昌哉 藤井 宏

本報告は第3回 I R I A Symposium (1977年  
12月 ベルサイユ) に著者達が発表した。下記の近刊論文の  
解説である。; "On numerical deformation of singularities  
in non-linear elasticity."

Springer: Proceeding 3rd International  
Congress on Computing methods.

この内容は、弾性論における幾何学的非線形現象：分岐  
座屈およびスナップスルー等に対する。数値計算の方法として  
例えば Hanai-Kawamata の形成的撮動が、どうして数値的に  
それぞれの特異性を再現できるのか、どんな場合にはできない  
のかについて解答をあたえ、更にその収束、誤差評価を  
あたえるものである。